

小泉 樹(1年)

清家 陸(4年)

中園 慎太郎(3年)

河田 太一平
(3年)

鎌田 航生
(4年)

「箱根駅伝の主演は俺たちだ」

“注目選手の10問10答”

坪田監督やスタッフ、周りのチームメイトから期待がかかる注目選手5人に10の質問に答えてもらいました。

	河田	小泉	清家	中園	鎌田
Q1 箱根駅伝では何区を走りたい？またその理由も教えて下さい。	どの区間でも自分のベストの走りをするだけです。	1区を走りたいです。理由は祖父が4年連続で1区を走っていて、小さい頃から箱根駅伝の1区を走るのが夢だったからです。	5区。1年生の頃から青木さんに憧れ、青木さんを超えたいと思ってきたから。	3区です。1年次に3区の裏の8区を走り、苦い思い出したので今度は主戦区間の3区でリベンジしたいという気持ちと、個人的に思い出のあるコースなので走りたいです。	2区。2年の時のリベンジを果たしたいから。
Q2 自分の「売り」は何？	ロード適性	レースでの安定感。	距離が長ければ長いほど力を発揮できる。	積極性です。前でレースするのが好きです。	後半の粘り強さ。
Q3 憧れ、目標の選手は？	HONDAの青木さん	大学の先輩である坂東選手	青木涼真さん	青木涼真選手です。	青木選手
Q4 ライバルはどの誰？	明治大学の小澤	高校時代同期だった明治大の新井選手・立教大の中西選手	同期の鎌田航生	明治大学の富田峻平選手です。	清家陸
Q5 勝負シューズは？	NIKEヴェイパーフライnext%	ナイキのドラゴンフライ	ナイキ エア ズーム アルファフライ ネクスト%	ナイキ エア ズーム アルファフライ ネクスト%	ナイキアルファフライ
Q6 リラックスしたい時に聞く曲は？	John Cage [4'33']	[Alexandros] の「ワタリドリ」	BTSの「Lights」	BUMP OF CHICKENさんと嵐さんの曲です。	その時による。
Q7 試合前の食事は？試合後のご馳走は？	前日にシュークリーム。	試合前はうどんです。補食でカステラも食べます。試合後は特に決まっていますが、甘いスイーツやアイスを食べます。	試合前はカーボローディングするため、炭水化物中心で、試合後は焼肉食べ放題。	パスタです。試合後はこだわりはないです。笑	あまり気にしてない。強いて言えばパスタです。
Q8 今10万円もったら何に使う？	アクアリウム	シューズや服を買う。	Apple Watch	旅行に行くお金に使いたいです。	何か食べに行く。
Q9 将来の夢は？	落ち着いた暮らし	楽しく幸せな家庭を築くこと	番組プロデューサー	パリオリンピックに出場することです。	マラソンへの挑戦
Q10 今後の意気込み、熱い思いを語って下さい。	大学生後半戦もっと頑張ります！！！！	全日本・箱根駅伝ともに区間賞取れるように頑張ります！1期生のルーキーからスーパールーキーになります！	しっかりと夏を乗り越え、箱根では区間賞争いをします！	大学に入ってから納得のいく試合が少ないので、今年は結果にこだわってチームの柱になれるように頑張ります。	最終学年悔いを残さない走りをしたい。

箱根駅伝の記録

6年連続81回出場

最新記録

第97回大会(2021年) 往路16位 復路17位 総合17位

直近5年の記録

第96回大会(2020年) 往路16位 復路14位 総合15位

第95回大会(2019年) 往路5位 復路6位 **総合6位**

第94回大会(2018年) 往路5位 復路5位 **総合6位**

第93回大会(2017年) 往路12位 復路5位 **総合8位**

第92回大会(2016年) 往路19位 復路17位 総合19位

初出場 第2回大会(1921年)

シード回数 24回

連続シード 9回連続 第32回大会(1956年)～第40回大会(1964年)

最高順位 3位 第12回大会(1931年)、第22回大会(1943年)

優勝 総合 なし

往路 1回 第12回大会(1931年)

復路 1回 第82回大会(2006年)

チーム最高記録 往路 5時間31分36秒 第95回大会(2019年)

復路 5時間31分31秒 第95回大会(2019年)

総合 11時間3分57秒 第95回大会(2019年)

Topics

- 戦前に短距離選手ながら箱根駅伝を走った大木正幹はその後オリンピックで400mを走った。法政大学出身者初のオリンピック選手。
- 前監督の成田道彦は第54回大会の2区で瀬古利彦(早稲田)を破り区間賞を獲得した。
- 第76回大会(2000年)は1区徳本一善(2年)が区間賞で2区坪田智夫(4年)につなぎ、坪田も区間賞を獲得。見事なスタートダッシュで「オレンジ旋風」を巻き起こした。しかしその後は失速。総合10位、29秒差でシード権を逃した。
- 2000年代前半には選手全員がスクールカラーのオレンジに髪を染めて出場したり、選手の多くがサングラスを着用するなど、派手なチームカラーを前面に押し出していたが、これは徳本一善の影響が大きかった。
- 第94回大会で青木涼真(2年)は5区で区間新。9人ごぼろ抜きのみ力で14位から5位に押し上げ「法政の山の神」と崇められた。ちなみにチーム史上初の理系ランナーだ。
- 第97回大会、1区の鎌田航生(3年/現4年)は21年ぶりとなる区間賞を獲得。その勢いのまま第24回日本学生ハーフマラソン選手権大会(2021年3月14日)で1時間03分00秒で優勝。ユニバーシアード大会の出場権を得た。